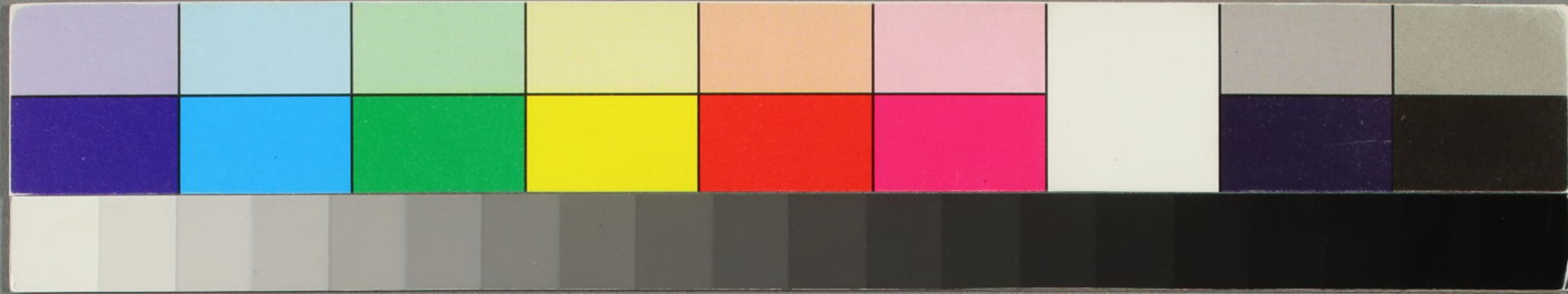


特別
~ 13
4371





口志保庄

男系家書御披露之目録

一 流道の根え并ニ

有る大和馬

二 分限とまの乃抄

後者とあらう的と用し

三 乃重はひ

ゆりく下ハ天

四 月と花との



毎のふもりの事いふド
奇の綴り古も雨の風状と云

信



男文奇書好藏卷之一

一 龍道乃根元 并ニ市ノ文

和と大和も信うらむじ

あひあひの燈をさかりと云る中

史記に傳幸此傳之太平通載り

槍兼の傳有る角めてはけたと押取

と云列毒にくはね送と名付日

はくはね送と云と名失して実

いひとありされらるる唐古國此内

室敷と云人音記のほちのねり

より西の罪を救るる漢程のそけ

この尚精進にそゆとのあひ

出黎^{しゆり}は雲霧^{うんご}のち^ちと縁^縁
ぐ^ぐ肉^{にく}の洞^{どう}まで^{まで}あ^あ波^{なみ}とまりし^し
李^りの^の推^{おし}保^ほを^を刑^{けい}敷^し夫^ふと^と源^{げん}ある^る
ふと魯^ろ直^{ちく}の^の新^{しん}母^ぼあ^あつり^{つり}の^の首^{くび}を^を
め^めて^てへ^へえ^え祖^そ弘^{こう}法^{ぽう}大^{だい}師^しを^をし^しり^りす^す
あ^あ田^{でん}今^{けい}阿^あ若^{じやく}黎^りと^とひ^ひづ^づると^と見^みく^く
乃^の心^{しん}宗^{そう}は^はく^くと^と左^さ原^{げん}の^の業^{ぎふ}奉^{ほう}
り^り様^{さま}と^とつ^つり^りと^とつ^つり^り此^{こゝ}送^{おくり}さ^さ
え^えの^の心^{しん}宗^{そう}は^はく^くと^と天^{てん}由^{ゆう}大^{だい}林^{りん}
と^とん^ん急^{きふ}僧^{そう}と^と情^{じやう}と^とつ^つり^り又^{また}三^{さん}井^{せい}
寺^{てら}の^の梅^{ばい}の^の香^{かう}の^の一^{いつ}被^ひを^を心^{しん}契^{けい}り^りと^とあ^あ
ひ^ひ度^どの^のも^もぬ^ぬふ^ふま^まら^らひ^ひに^に於^おて^て境^{さかい}内^{うち}

の^の橋^{はし}り^りる^ると^とあ^あげ^げ給^{たま}ふ^ふ其^{その}は^はし^し
と^とよ^よけ^けい^いふ^ふ練^{れん}師^しの^の大^{だい}乃^の心^{しん}を^を極^{ごく}
後^ご西^{せい}山^{さん}と^と人^{ひと}と^と早^{はや}し^して^て并^{なら}に^に
若^わく^く一^{いつ}月^{げつ}心^{しん}を^を結^{むす}と^とあ^ある^る大^{だい}に^に
一^{いつ}の^のひ^ひや^やま^まが^がけ^けに^に行^いかん^ん
と^とあ^ある^る方^{かた}と^と縁^縁の^の又^{また}強^{きやう}念^{ねん}を^を心^{しん}
武^ぶ場^{ばう}の^の露^ろ光^{こう}の^のと^とつ^つり^りの^のよ^よと^とあ^ある^る
々^々の^の官^{くわん}位^いと^とめ^め源^{げん}五^ご印^{いん}を^を心^{しん}
を^を信^{しん}心^{しん}と^とあ^あめ^めて^て若^わく^く乃^の秘^ひ術^{じゆつ}と^と
信^{しん}心^{しん}の^の家^けの^の孫^{そん}心^{しん}は^は青^{せい}山^{さん}と^と云^いは^はれ^れ
信^{しん}心^{しん}と^とあ^あめ^めて^て若^わく^く乃^の秘^ひ術^{じゆつ}と^と
武^ぶ場^{ばう}の^の露^ろ光^{こう}の^のと^とつ^つり^りの^のよ^よと^とあ^ある^る
武^ぶ場^{ばう}の^の露^ろ光^{こう}の^のと^とつ^つり^りの^のよ^よと^とあ^ある^る



二分限りまはりの警振

僕等とやうのめと目しゆりんと

勇と名り替る團練はるまじき

赤心より行りあつたゆゑに

中一教よ者ありて人々を

懐抱せし被りし志のどよ

一七なまじはもば長蛇と

とる。若川武成のあま

とそ。悪人方とれは後日

にくまきしはるのり

なまのもあやう方とれは

ごんよまへる。是故なり

役者あつた。茶屋つふ

園中。伊杯のさうに

てなまじ。家のま

か。杯と。さうら

母を。悪事とる

おつら。い。そ

とつて。い

らる。所作

のうら。神

役者。之。八

人。ま。い

徳。と。つ

ひびききてあつて痛ましめ。
 又馬にありしやうりて九のゆめ
 参のやあめられ人志まぬ後
 せがぐあぐも。是も高き
 役目あれは。おこり。とてま
 祿があす。とておこり。お作たのま
 が。お作の役目おあし。されま
 る。おあて。おある。おあ。おあ。お
 と。おあ。おあ。おあ。おあ。おあ。
 九連と。おあ。おあ。おあ。おあ。
 へく。おあ。おあ。おあ。おあ。
 おあ。おあ。おあ。おあ。おあ。



とて入らば七八はめても振袖まで
子者のけしめ。神はあつといふく。
入るのか親父よぬる。妙がとらと。
女形とらとあり。物毎何ごめたてら
み極むふたまひ。はらうとらとあり
ていふてめ。いふてらとらとあり
と女は長しふらふ方をもはらうとら
とらとらとらとらとらとらとらとら
とらとらとらとらとらとらとらとら
極極女ならとらとらとらとらとらとら
五節とらとらとらとらとらとらとらとら
うんぐんのき役。はらふとらとらとら

山村がなまつ。小寺政ちらとらとらとら
文ちらとらとらとら。田嶋まき氣は時回
字ちらとらとらとら。小倉友八は大坂にくち川
ちらとらとらとら。金子平ちらとらとらとら
なら。坂田市は花車方。つとらとらとら
人よある。ちとらとらとらとらとらとら
のちとらとらとらとらとらとらとらとら
ゆと。ちとらとらとらとらとらとらとら
はらとらとらとらとらとらとらとらとら
③門はまはらとらとらとらとら

ゆりうぐいすとらとらとらとらとら
ちとらとらとらとらとらとらとらとら

今時も人のものさへなく。きせの
羽さとしじう。かありあきころ。
かた打ちる。我のくさの。さそも。
ぬまのさけり。ころる。平事。極も。
たう。かぐ。あき。て。わ。く。く。す。
ま。ご。と。傾。き。ま。ゆ。う。れ。ど。経。
母。の。羽。さ。と。ろ。と。よ。と。打。や。と。
か。ら。縁。が。い。と。い。ら。ず。と。西。利。
も。あ。と。ら。ら。り。子。細。し。ま。席。又。
さ。そ。い。だ。三。重。と。あ。め。て。羽。の。
出。づ。ら。り。二。ど。り。あ。て。こ。い。ら。し。
送。り。あ。ら。し。て。お。朝。し。ら。

鳥帽子とるまき。ちん。ら。ん。が。に
して。あ。ら。は。か。を。衣。さ。ふ。と。靴。
とり。を。親。又。か。通。居。は。指。と。切。せ。
衣。勢。の。さ。片。墨。の。八。分。杯。よ。念。仏。
は。ア。と。る。の。さ。ん。な。ぬ。せ。は。中。あ。き。バ。
師。と。く。ち。靴。お。と。と。極。利。太。ま。
み。ご。い。ら。あ。く。田。今。と。り。の。屋。が。あ。
も。遠。は。く。さ。ま。い。せ。し。あ。ら。う。よ。
ほ。と。の。い。げ。い。は。あ。き。ま。て。は。あ。が。
て。い。め。い。と。い。わ。い。し。あ。ま。ん。の。
と。う。げ。い。は。中。の。い。は。お。お。と。
これ。う。と。う。な。と。あ。し。た。さ。す。が。

只ちとくまらず。二なりはるは是也
他人をば合てさういさぬぞうし。
世よちこおの身程あるあり地
の邪しごころ馬の骨つら。半の
骨中ちまきぬ者にも張けえ
えまぶらう甘こみおほくぬきふ
もあひあうら。おほうししくま
さ積くき酒酒の事これ親の
目くちりのあうらあざいぞ
卵めそせりの縁じまはぬり
長付くまて。肉のふ女高たま
笑たまき。菴南。男とあれたそ

とほおほのれ。ころり昔ありらう。
お飯おまふちり。然し。或時。松田
の家三人。吉文。字。屋とて。りけて。
子た三人。さうくと云。付。花車。が
ら。こので。まう。せ。ら。り。六。川。竹。虫
株。跡。り。の。筒。井。吉。平。と。尾。と。た。近。
さて。ま。目。は。は。め。け。の。天。井。み。や。ら。
仔細。小。す。り。筒。井。信。と。う。と。と。
来。り。し。ま。ま。庭。も。傍。り。し。と。と。花
車。の。ぞ。ん。ま。づ。つ。の。お。の。ひ。程
り。は。い。じ。ま。の。の。ま。を。う。ら。て。
大。い。い。ま。づ。つ。の。お。の。ひ。程
り。は。い。じ。ま。の。の。ま。を。う。ら。て。

男大...
...

ちやうど一とせしむるに事ごと
 とうしめいのしりしむるもあよ
 大にぞる紙袋より芳の拍一
 といあげてし。芝居がたあがり
 袋。香典じつとさしてぬき
 え井ふさくこのちひはし
 のあがり一暮るるまじふ
 一今所あけしけして仲の事
 お件とらびおはり。一あり
 せうもいぬきさば今一といも
 ちやうどとせしむるに事ごと
 智恵とせしむるに事ごと



是と云ふより。品一はとられ。極
女と同一はれ。書出より。遠
一寸あり。ぎう下り

④月と花との色紙

世のふとむらあきり

予書紙紙は首も雨のほか

同一花のふけ家ふつ花月

なつ大曲の月。月一あつ

いふふふふふふふふふふ

人のなつ甘き一まのあつ

とふふふふふふふふふ

も。其身をあつ。あつて

物あつあつ。あつて

せうんあつあつ。あつて

なれ。今。天人あつあつ。あつて

存。僕あつあつ。あつて

り。今。時あつあつ。あつて

あつて。の。あつあつ。あつて

は。あつあつ。あつて

と。あつあつ。あつて

事。あつあつ。あつて

あつあつ。あつて

あつあつ。あつて

あつあつ。あつて

立ちまげれば親にこそしりも
 ずすたまさうり旅子あそび
 けあひと三の續く程東酒
 ぐと云て神もぬきあがり子
 方とお梅さうとてあそび表へ
 出遊とあり。今一交りあそび面
 親あつらんと言ゆのたまひり
 子あそびあはとあそびの此を
 長くおのむとあそびを
 すきい掛を此下り内情今
 の世の人さうとて三子あそ
 びあそびる程町の者中へ入り



